

放射線の性質と医学利用

日時：令和5年8月21日（月）10：00～16：20

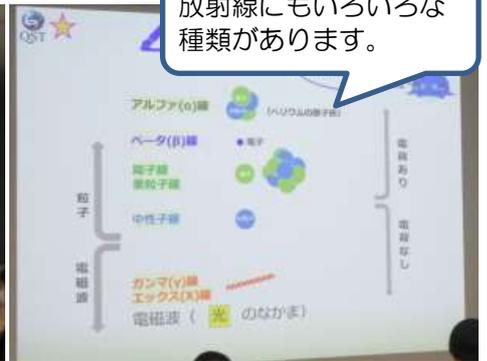
場所：量子科学技術研究開発機構

参加者：25名

講師：量子科学技術研究開発機構の先生方



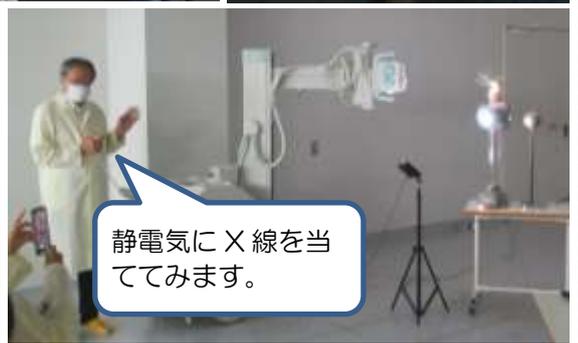
関根先生



矢島先生



北川先生



先進核医学の研究室の見学させていただきました

地下にある重粒子加速

【受講生の感想】

- 今回のプログラムを通して、放射線についての基本知識から医療現場ではどのように使われているのかがわかりました。放射線は身近にあふれていて、様々な役割があることが知れてよかったです。霧箱は放射線の通り道を目に見える形で教えてくれる装置で身近な道具で作れたので、家でも作ってみたいと思いました。
- 「放射線」という言葉はよく聞くけれど、具体的に医学でどう利用されているのかは詳しく知りませんでした。今回の講座でどうやって利用するのかなど、わかりやすい説明を聞くことができたり、実際の機械や本来なら入ることのできない場所を見学したりできたので、理解が深まりました。また、霧箱をつかって放射線を見ることができて楽しかったです。
- 研究施設の見学や霧箱の作成を通して、放射線への理解が深まりました。1番印象に残ったのは、病院の地下にある直径40mの粒子加速器です。重粒子線でのがん治療のことを詳しく知らなかったので驚きました。一筆書きで放射線をがん細胞に当てる技術がすごいと思いました。
- 学校の先生に薦められて参加し、最初は緊張していましたが、思いきって来てみると、とても興味深く、貴重な体験ができました。私の夢は獣医で、今回学んだ放射線の治療が動物にも用いられているか、用いられていないなら、今後用いることを可能にすることを新たな目標として、進んで行きたいと思います！